

記者発表資料 配布日時	平成29年4月28日 14:00
----------------	---------------------

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

～瀬戸内海をクルーズの海に～ クルーズ活性化検討会を行います

瀬戸内海は世界に誇る景色をもつ海域で、国土交通大臣により広域観光周遊ルート『せとうち・海の道』にも認定され、海外から訪れる旅客も増加しています。

多島美を誇る瀬戸内の豊かな観光資源を活かし、さらに多くの旅客を瀬戸内海に呼び込むことを目的として、クルーズの活性化について検討会を行います。

日 時 : 平成29年5月9日(火) 10:00～

場 所 : グランドプリンスホテル広島(広島市南区元宇品町23-1)

- 議事次第 :
- (1) 開会挨拶
 - (2) 瀬戸内海の特長を活かしたクルーズの実現に向けて(中国地方整備局)
 - (3) 瀬戸内海でのクルーズ船の寄港・航行について(カーニバル・ジャパン)
 - (4) ガンツウの就航について(せとうちクルーズ)
 - (5) 閉会挨拶

検討会は公開とします。

取材をご希望の場合は、平成29年5月2日(火)15:00までに取材申込書にて申込みをお願いします。なお、当日も取材を受け付けております。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3928(直通)(平日・昼間)

クルーズ振興・港湾物流企画室長 すが たかのり 菅 高德
港湾計画課 課長補佐 ばんだ まさる 伴田 勝

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL:082-511-3905(直通)(平日・昼間)

計画企画官 こけくち きよし 荅口 聖史

第3回 瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会 参加予定者

(常任委員)

敬称略

氏名	所属及び役職
鈴木 徹	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 部長
木嶋 淳	国土交通省 中国運輸局 観光部 部長
鈴川 篤志	中国地域観光推進協議会 事務局長
村橋 克則	(一社)せとうち観光推進機構 事業本部長
田井中 靖久	岡山県 土木部長
宮津 智文	広島県 空港港湾部長
藤山 一郎	山口県 土木建築部長

(臨時委員)

氏名	所属及び役職
堀川 悟	カーニバル・ジャパン 代表取締役社長
城 暁男	(株)せとうちクルーズ 代表取締役社長

中国地方整備局 港湾空港部
クルーズ振興・港湾物流企画室 宛て
FAX 082-511-3910

第3回 瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会 取材申込書

平成29年 月 日

所属名	
氏名	ふりがな
連絡先	TEL
	FAX

瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会

1. 目的

我が国は東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年までに訪日外国人客4000万人を目標に受入環境整備を進めており、地方への周遊を促すための広域観光周遊ルートとして、瀬戸内においては「せとうち・海の道」が国土交通大臣によりルート認定されています。

瀬戸内の豊かな観光資源を活かし、更なる訪日外国人客数の拡大を図るためには、新たなクルーズ等需要の呼び起こしが有効で、そのためには、クルーズ船の寄港等に積極的な運航船社の掘り起しと、運航に必要なハード面・ソフト面の条件把握や、受け入れに積極的な地方公共団体の掘り起しが不可欠となります。

そのため、瀬戸内におけるクルーズに興味を持つ船社等を招き、構想及びハード面・ソフト面における受入環境に関するニーズを把握し、受け入れに積極的な地方公共団体と意見交換を行う場を設けることにより、ニーズのマッチングを行うとともに、所要の港湾整備にもつなげていくことを目指します。

2. 取組体制

マッチングの機会のある場を設けるため、国・港湾管理者・自治体・船社等により構成する「瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会」を平成28年7月に設立しました。なお、より実効性のある取組みとするため、瀬戸内における観光関連産業の振興を支援している「(一社)せとうち観光推進機構」のクルーズ支援に関する取組みと連携しています。

また、戦略的にマッチングを推し進める会議であることから、常任委員(国・県・関係団体)の他、会議のテーマ毎に関係する方々を臨時委員(船社・市町村)として加わって頂く体制としています。

3. 取組概要

次頁をご参照下さい。

瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会の開催

第1回瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会

平成28年7月6日(水) 16:00～ 中国地方整備局 港湾空港部 会議室

瀬戸内海の豊かな観光資源を活かしたクルーズ需要の呼び起こしのため、内航船社(せとうちホールディングス)との意見交換を行いました。船社から建造中のクルーズ船や水上飛行機の紹介、受入側への希望などが話され、受入側である尾道市より尾道水道の現況と課題、廿日市市より宮島口地区の整備状況の情報提供がありました。

(常任委員)

敬称略 (臨時委員)

氏名	所属及び役職	氏名	所属及び役職
鈴木 徹	国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 部長	槇山 博之	尾道市 建設部長
木嶋 淳	国土交通省 中国運輸局 観光部 部長	河崎 勝也	廿日市市 建設部長
鈴川 篤志	中国地域観光推進協議会 事務局 長	永堀 敬太	せとうちホールディングス 企画本部 マネージングダイレクター
村橋 克則	(一社)せとうち観光推進機構 事業本部長	高橋 邦明	岡山県商工会議所連合会 専務理事
三村 富士男	岡山県 土木部長	谷村 武士	広島県商工会議所連合会 幹事長
宮津 智文	広島県 空港港湾部長	國重 敦生	山口県商工会議所連合会 専務理事
前田 陽一	山口県 土木建築部長		

平成28年7月6日現在

第2回瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会

平成29年1月31日(火) 14:00～2月1日(水) 15:00 グリーンヒルホテル尾道

初日は瀬戸内海におけるクルーズに興味をもつ外航クルーズ船社の運航管理等に携わる方を招き、保有船舶の紹介や受入環境に関するニーズを聞くとともに、受入を検討している港の港湾管理者より港湾施設の情報を提供しました。また、せとうちホールディングス(内航船社)より、第1回検討会の報告として、新造クルーズ船の進水式が行われ、今秋、就航予定であることが話されました。

2日目は新たなクルーズ需要を掘り起こすことを目的に、外航クルーズ船社と受入れに積極的な地方公共団体のニーズのマッチングの機会として、個別面談を開催しました。港湾施設の詳細や排水の受入の可否、港から観光地までの移動時間について具体的な質疑応答がなされました。この面談を機に、船社と受入側の担当者によって具体的な寄港検討が進むことが期待されます。

(臨時委員)

平成29年1月31日現在、敬称略

氏名	所属及び役職
Captain Alan Wilson	Holland America Group(船舶運航副社長)
Jess Peterson	Windstar Cruise(事業開発/運航計画担当マネージャー)
槇山 博之	尾道市 建設部長
岡野 晃士	(一社)せとうち観光推進機構 マネージャー
伊藤 篤	岡山県土木部港湾課 主任
佐藤 純一	香川県 交流推進課 主任主事
藤高 慎治	愛媛県土木部河川港湾局港湾海岸課 専門員
岩田 昌文	広島県土木建築局港湾振興課 ポートセールス担当監
宮川 正和	山口県土木建築部港湾課 主査
和田 久史	鳥根県観光振興課国際観光グループリーダー
田中 裕哉	境港管理組合 主事
中山 裕章	(株)せとうちホールディングス 企画本部 企画部
高橋 邦彰	岡山県商工会議所連合会 幹事長
谷村 武士	広島県商工会議所連合会 幹事長
國重 敦生	山口県商工会議所連合会 幹事長





株式会社カーニバル・ジャパン
代表取締役社長
(Representative Director)
堀川 悟



ハワイ州立ハワイ大学商学科経営学部を卒業後、1980年、ジェットツアーハワイ株式会社入社。オペレーション・プランニング・マネージャー・ハワイとして、ホテル、バス、航空券、オプションツアーの手配業務やハワイパッケージツアーの企画実施に携わる。

1987年、日本ディーエフエス株式会社にセールス&マーケティングマネージャーとして入社。その後、セールス&マーケティングディレクター、セールス&マーケティング副社長を歴任。2001年に代表取締役就任、国内旅行において免税品を購入できる日本初の免税店として沖縄空港店の設立や、東京・韓国マーケティングオフィスの経営の総責任、運営管理を遂行。その後2002年、沖縄ディーエフエス株式会社代表取締役に就任。沖縄ディーエフエス市内店・ギャラリー設立。当時の内閣総理大臣、小泉首相によるギャラリーの沖縄観光指定地域としての認可に寄与する。2005年にはディーエフエスグループLPハワイ/北アメリカセールス&マーケティング副社長に就任。ハワイ市内、ロサンゼルス市内の店舗の運営並びにセールス、マーケティングを統括。

2006年、株式会社イシン・ホテルズ・グループ入社。営業開発本部セールス&マーケティングバイスプレジデントとして、ヒルトン成田等を含む全国22軒のホテルの業績達成責任を担う。

2011年、株式会社大河アセットマネジメント入社、沖縄支社支社長に就任。沖縄県内の不動産物件の収益の最大化と管理並びに投資家に対するアドバイスを行う。

2014年6月、株式会社カーニバル・ジャパン入社、デピュティ・リプレゼンタティブ・ディレクターに就任。プリンセス・クルーズや、キュナード・ライン、シーボーン・クルーズの営業、マーケティング、PRを統括する。

2015年4月、同社代表取締役に就任し、営業部及びPR/マーケティングを統括する。

2015年9月、同社代表取締役社長に就任し、現在に至る。



株式会社 せとうちクルーズ
代表取締役社長

城 暁男



—略歴—

一橋大学卒業後、1972年大阪商船三井船舶（株）入社。
同社ニューヨーク支店勤務。EAC（コペンハーゲン）出向。
不定期船課長、不定期専用船部副部長、エムオーバルク部長を
歴任後、1998年、Mitsui OSK Bulk Shipping(Europe) Ltd.
Managing Director就任。

2000年より、神原汽船顧問就任後、2001年から同取締役、
2004年より同常務取締役就任。
2007年にツネイシホールディングス代表取締役、
神原汽船カンパニー社長執行役員を兼任。

2011年1月神原汽船・神原ロジスティックス代表取締役社長
2014年神原汽船代表取締役会長、2015年神原汽船特別顧問を経て、
2017年せとうちクルーズ代表取締役社長に就任し、現在に至る。